



# すぎく

令和3年4月30日

No.497

杉並区立杉並第九小学校だより

## 「杉九小児童のあいさつは、天下一品」

校長 岩崎 吉伸

4月19日の全校朝会で、児童に向けて挨拶の大切さについての話をしました。杉九小は、生活指導の重点目標として「互いの人権を認め合う子の育成」を掲げています。(相手を認める初めの一步が「あいさつ」だと考えます。)そして、「あいさつを大切にしよう」「いつでも、だれにでもあいさつができる子を育てよう」と全教職員で取り組んできています。入学式でも、新1年生の子供たちに向けて「元気よくあいさつすることを頑張りましょう。」という話をしました。入学式で校長の話に相槌を打って、返事をしてくれた1年生たちにとっても感動しました。杉九小の今までの成果もあり、杉九児童は、本当によくあいさつをします。朝、さくら門に立っていると、自分から大きな声で「おはようございます」と先にあいさつする子がたくさんいます。

以下は、全校朝会で児童に話した内容です。「校長先生は、『挨拶は魔法の言葉』だと思います。どうして、挨拶が魔法の言葉なのでしょう。『おはようございます』は、相手に対して『早くお目覚めになりましたね。』という気持ちが、短くなった言葉です。『こんにちは』は、『今日

は、よい日ですね。』という気持ちが、短くなりました。『いただきます』は、『食材の命をいただきます。』という気持ちが入った言葉です。このように、挨拶は、相手を気遣う気持ちが込められた言葉なのです。だから、自然と相手と親しくなれるのです。出会った人と親しくなれる言葉なんて、魔法の言葉だと思いませんか。そこで、今日は、校長先生が、皆さんに、魔法の言葉がさらに強力になる呪文を教えます。簡単です。『あ・い・さ・つ』からできています。㊦かるく、㊧つでも、㊨きに(自分から)、㊩づける。」

朝、元気よく挨拶をしてくれる子、廊下で笑顔で会釈してくれる子、「さようなら」と大きな声で言ってくれる子……。皆さんの素敵な魔法が杉九小を包み込んでくれています。ぜひ、家庭や地域でも、挨拶の輪を広げていきましょう。

杉九の子のあいさつは、天下一品です。あいさつが校内だけでなく、地域全体に広がることを願っています。

### 5月の生活目標

#### <友達と仲良くしよう>

新緑の季節となりました。休み時間の外遊びが気持ちいいです。そして、新学期が始まり新しい学年に慣れてきた頃だと思います。充実した学校生活を送るためには友達と仲良く過ごしたいです。同じことを言葉で伝えるのも、とがった言葉だと相手の人にいやな印象を与えてしまいます。仲良くするには、少しだけお互いにゆずり合ったり、優しい言葉をかけあったりできなくてははいけません。同じクラスから隣のクラス、他学年へと友達の輪が広がるよう励ましていきます。

### 研究の窓

#### 「主体的・対話的に学習する子の育成」

今年度も、昨年度の校内研究を踏襲し、上記の研究主題の下、文章中の記述やこれまでの経験などを根拠にして論理的に考える力や、その考えを進んで交流して広げたり深めたりしていく力の育成を目指します。教科を絞らずに、各学年1回の研究授業を行い、指導法の工夫を提案し合っています。一人一人の教員がその工夫を、児童の発達段階や指導内容に応じて取り入れ、授業で実践していくことで、教員の指導力と児童の学力の向上につなげていきたいと考えています。

